

The 3rd SCEJ Tokyo Young Researchers Workshop

『各業界における化学工学（化学工学技術者）の役割』

～過去と現在そしてこれからの在り方～

一昨年度より開催されました SCEJ Tokyo Young Researchers Workshop は、多くの企業・学生の皆様よりご好評をいただきましたおかげで、本年度で第 3 回目を迎えることができました。過去にご参加くださいました企業・学生の皆様には心より感謝しております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

化学工学に関連する専攻では、分離操作や反応工学、材料工学、熱力学など、各大学・各研究室において多くの分野を取り扱っております。反応工学と一口にいても、触媒反応工学、生物反応工学などと分野は多岐にわたり、現在ではプラズマ反応工学のような特殊反応場を用いた反応工学の研究も盛んであり、化学工学という学問がいかに領域の広い分野であるかが伺えます。その領域の広さから、化学工学系専攻出身の人間の活躍の場は非常に広く、化学・石油・エンジニアリング業界はもちろんのこと、食品や製薬、医療機器など業界・分野を問わず多種多彩です。一方で、これから就職活動をはじめめる学生も、もうすでに就職活動を終えている学生にとっても、大学での研究と実際に社会に出てからの現場での業務に大きく規模の開きがあると同時に、実際に現場を見る機会がインターンシップでの短期的な業務や工場見学などに限定されており、学生時代における将来自分たちが就く仕事についての理解が乏しいのが現状です。これから自分たちが活躍するであろう産業界においてももうすでに現場でご活躍されている企業の方々を交え、様々な大学・研究室の学生がグループディスカッションを行い、多くの業界が存在している産業界において、各業界における化学工学および化学工学系技術者の役割について、過去と現在そして自分たちが活躍するであろう未来における比較および検討を行い、グループごとに答えを導き出す。最後の発表を通じて、自分たちのグループ以外の業界との共通点・相違点を比較・分析・討論を行っていただく事で少しでも業界ごとの化学工学の役割について理解を深めていただければと存じます。経験不十分な学生と、経験的要素を多く含む化学工学という学問の更なる成長・発展のため、各業界の企業の皆様には心よりご協力お願い申し上げます。企業・学生の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

記

- 日時： 2010年11月6日（土）午後開始
- セミナー： 13:00～18:00（12:30～受付開始）
- 懇親会： 18:00～20:00
- 会場： 東京工業大学大岡山南2号館
東京工業大学大岡山南4号館（一部ディスカッション会場として使用）
東京工業大学第一食堂（立食懇親会）
- 学生会費： 3000円（懇親会費を含む）
- 企業アドバイザー参加費：
2000円（懇親会費を含む）
- 対象： 関東地区の化学工学系専攻および研究室に在籍する学生
（参加予定大学：慶応義塾大学、芝浦工業大学、千葉工業大学、東京工業大学、
東京農工大学、東京理科大学、日本大学、早稲田大学）
- 去年度参加アドバイザー：
アサヒビール株式会社、味の素株式会社、出光興産株式会社、花王株式会社、
株式会社カネカ、株式会社ジャパンエナジー、株式会社東芝 社会システム社、
昭和電工株式会社、住友化学株式会社、住友ベークライト株式会社、
千代田化工建設株式会社、DIC株式会社、東ソー株式会社、
東洋エンジニアリング株式会社、東レ株式会社、日揮株式会社、
日本たばこ産業株式会社、三菱化学株式会社、
三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社、三菱レイヨン株式会社
- 主催：化学工学会関東地区学生会（<http://www.scej-kt.org/gakuseikai-kt/>）
- 後援：社団法人化学工学会関東支部

タイムスケジュール(2010/09/04時点での予定)

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 12:30 | 受付開始 |
| 13:00 | 挨拶 - 趣旨説明・アドバイザー紹介 |
| 13:20 | グループ討論① (アドバイザー自己紹介10分、学生自己紹介1人3分) |
| 14:10 | 休憩 |
| 14:20 | グループ討論② |
| 15:40 | 休憩 |
| 15:50 | 全体発表・質疑応答 |
| 17:30 | 閉会挨拶 |
| 18:00 | 立食懇親会 |

参加申し込みの締め切りは9月19日までとさせていただきます。各大学担当者までご連絡ください。その際、所属研究室、学年、ご芳名をご記載下さい。

積極的にディスカッションに参加していただける方を募集しています。

円滑にディスカッションを進めるために、参加者の皆さまには事前アンケートにご回答いただきます。アンケートの詳細は後日お送りいたしますのでご協力をお願いします。

当日は私服でおこしてください。

様々な業界における化学工学系の仕事経験が豊富な方が、一度に集まる貴重な機会です。是非、有意義な時間をお過ごしいただければと思います。

代表

東京工業大学大学院 理工学研究科
国際開発工学専攻 修士課程1年
青木悠一郎（あおき ゆういちろう）
Tel : 080-3932-1013
E-mail : aoki.y.ap@m.titech.ac.jp

窓口

東京工業大学大学院 理工学研究科
化学工学専攻 関口研究室
石毛克弥（いしげ かつや）
Tel : 090-7094-9489
E-mail : ishige.k.aa@m.titech.ac.jp

The 3rd SCEJ Tokyo Young Researchers Workshop

各業界における化学工学 (化学工学系技術者)の役割とは何か

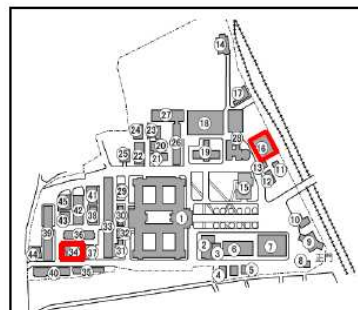


※去年度ワークショップの様子

日時 11月6日(土) 参加費:3000円(懇親会費含む)

場所 東京工業大学
大岡山キャンパス

東急大井町線・目黒線
大岡山駅 下車 徒歩 2分



昨年度参加企業

アサヒビール株式会社・味の素株式会社・出光興産株式会社・花王株式会社
株式会社カネカ・株式会社ジャパンエナジー・株式会社東芝社会システム社
昭和電気株式会社・住友化学株式会社・住友ベークライト株式会社
千代田化工建築株式会社・DIC株式会社・東ソー株式会社
東洋エンジニアリング株式会社・東レ株式会社・日揮株式会社
日本たばこ産業株式会社・三菱化学株式会社
三菱重工環境化学エンジニアリング株式会社・三菱レイヨン株式会社 (五十音順)

タイムスケジュール(9月4日現在)

12:30ー 受付 南2号館(地図34)

13:00ー17:30 グループディスカッション

『各業界における化学工学(化学工学技術者)の役割とは』

幅広い工学体系を持つ化学工学は、実際に各産業界で具体的にどのように活躍しているのかを知る機会はなかなか少ない。ワークショップでは産業界の方々や学生の議論を通し、産業界での具体的な化学工学の活躍や重要性を理解し、今後将来を担う化学工学系学生に求められる能力を考える

18:00ー20:00 立食懇親会 第一食堂(地図16)

申し込み締切:9月19日(日)

申し込み先:

代表: 青木悠一郎(東京工業大学)

化学工学会関東地区学生会参加大学

慶応義塾大学,芝浦工業大学,千葉工業大学,東京工業大学,東京農工大学,東京理科大学,
日本大学,早稲田大学 (五十音順)

主催:化学工学会関東地区学生会
後援:社会法人化学工学会関東支部